

2013年6月12日

各 位

オリックス株式会社

中東最大級の保険会社 MEDGULF へ資本参加 ～中東で保険事業に初参入し、金融サービス事業の多角化へ～

オリックス株式会社（本社：東京都港区、社長：井上 亮）は、このたび、中東地域最大級の民間保険会社 The Mediterranean and Gulf Insurance & Reinsurance Company B.S.C.（本社：バーレーン王国マナーマ市、以下「MEDGULF」）の発行済株式の約 25.7% を取得することで基本合意しましたのでお知らせします。今後、必要となる許認可の取得を経て、今月中に出資を予定しています。

MEDGULF は、1980 年に中東地域の保険業界のパイオニアとしてレバノンで創業後、1995 年にバーレーンで設立された持ち株会社で、サウジアラビア、レバノン、ヨルダンの中東地域およびイギリスで保険事業を展開する企業グループです。事業の中核となるサウジアラビアにおいては、サウジアラビア証券取引所に上場する第二位の保険会社を有し、法人向け健康保険を主力として事業を展開しています。また、中東で最も古くから保険事業が発展しているレバノンでは、国内最大の保険会社を有し、健康保険や自動車保険を中心に事業を展開するなど、中東地域において強固な事業基盤を築いています。

中東地域における対 GDP 比の保険普及率は、未だ 2%未満(*1)で先進国の 5 分の 1 程度の水準に留まっています。加えて、各国の経済成長や人口の増加、さらには国家支出の軽減策として強制保険制度(*2)が政府から民間へ移行される背景もあり、今後保険需要のさらなる拡大が見込まれます。

中でもサウジアラビアでは、2006 年より民間企業を対象に従業員の健康保険への加入が段階的に義務付けられ、また将来的には国営企業の従業員や個人事業主へも義務化の対象が拡大すると見込まれており、今後民間保険市場のさらなる成長が期待されます。

オリックスは、中東・アフリカ地域において 1994 年のオマーン進出を皮切りに、エジプト、サウジアラビア、アラブ首長国連邦、カザフスタンで現地の有力パートナー企業と共にリース事業を展開しています。本資本参加により、中東地域で高い事業シェアとブランド力を有する MEDGULF との戦略的パートナーシップを通じて、今後、中東地域の保険市場の成長を取り込むとともに、中東地域におけるプレゼンスの向上と金融サービス事業の多角化を図ります。

オリックスは、2013 年 2 月にオランダを本拠としグローバルに展開する資産運用会社 Robeco Groep N.V. の買収を、また 5 月にはモンゴルの大手金融グループ TenGer Financial

Press Release



Group への資本参加を決定するなど、世界規模でのアセットマネジメント事業の拡大と高い成長が期待できる新興国市場での金融サービス事業への投資を積極的に推進しており、今後もグローバルな事業基盤のさらなる拡充を図ってまいります。

(*1)出典：スイス再保険会社による調査「2011年の世界の保険」。保険普及率＝保険料総額の対GDP比。

(*2)法令などにより一定の者の加入が義務付けられている保険。日本においては、国民健康保険、自動車損害賠償責任保険などが該当。

以 上

<本件に関するお問い合わせ先>

グループ広報部 堀井・柴田 TEL：03-3435-3167

■ 「MEDGULF」 概要

会社名 : The Mediterranean and Gulf Insurance & Reinsurance Company B.S.C.
所在地 : バーレーン王国マナーマ市
代表者 : Lutfi Fadel El Zein (会長 兼 創業者)
設立 : 1995 年 (創業 : 1980 年)
株主 : SLH Holdings 60.175%
(資本参加後) オリックス 25.752%
国際金融公社 14.073% (2012 年 6 月資本参加)
事業内容 : 保険業
主要拠点 : サウジアラビア、レバノン、ヨルダン、イギリス
HP : <http://www.medgulf.com/default.aspx>